

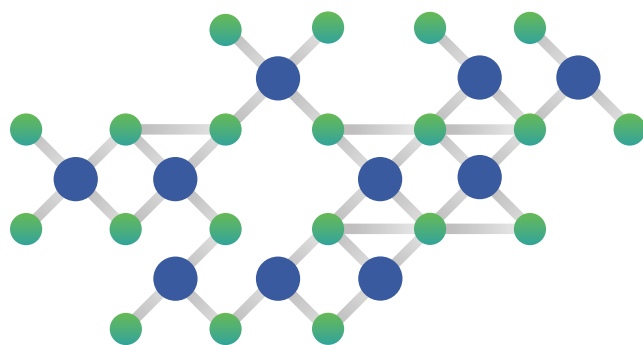


静岡大学 情報学部
Faculty of Informatics, Shizuoka University

2027 MOVE



データと
創造力で、
未来を切り拓け！



静岡大学 情報学部
Faculty of Informatics, Shizuoka University



データと創造力で、 未来を切り拓け！

静岡大学情報学部は、広い視野から情報化に取り組むべく、
国立大学で初めて設置された情報学の総合的学部です。

ここでは、AIやIoT等の最先端技術から、データサイエンスや
情報マネジメント、私たちが暮らしやすい情報社会デザイン
の学びを通して、新たな未来を切り拓ける人を育成します。

さあ皆さん、一緒に情報学を学んでいきましょう！

情報学部の魅力

文工融合

多様な入試

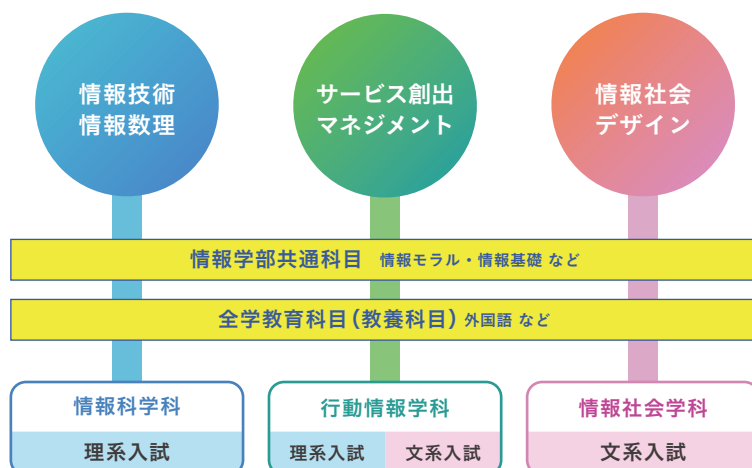
幅広い研究分野

豊かなキャリア形成

社会との連携

3学科体制による文工融合

情報社会・情報技術の急速な進展に伴い、
新たに必要とされる人材を育成するために、
3学科体制で教育を行っています。3つの学
科は、それぞれコンピュータ科学、情報サー
ビス設計、情報社会デザインという中心テー
マを持ちながらも互いに連携し、技術の観点
から（情報科学科）、データやサービスの観
点から（行動情報学科）、社会や人の観点か
ら（情報社会学科）、文工融合の情報学を教
授し、高度情報社会をリードする多様な人材
を育成します。



情報科学科

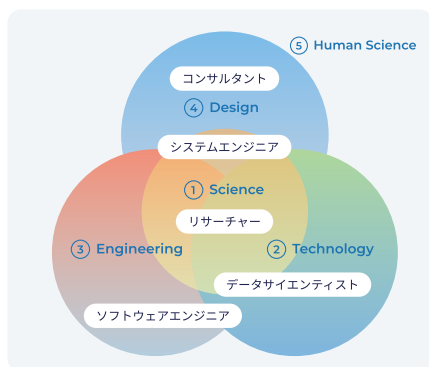
DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE

多様な専門分野で切り拓かれた知識・技術を、革新的な情報技術(IT)でコーティングすることによって汎用化し、さまざまな他分野へ展開可能にする応用学問分野 — それが「情報科学」の本質です。情報科学が、知識と技術、技術とシステム、システムと人、人と企業、企業と世界をつなげていきます。

情報科学科では、ITにおける広い知識と高い専門性の修得を通して、「世界(ヒト、モノ、コト)をつなぐ基礎力」を育成します。人間や社会と調和した情報システムを創造する能力の研鑽により、文工融合の理念で「世界をつなぐ応用力」を開発します。



情報科学を究めて私たちは未来の先駆者になる



情報科学によって世界が有機的につながられ、新たな製品・システム・サービスが次々と実現されていきます。情報科学が、人を、企業を、社会を、そして地球を機能拡張します。この「世界をつなぐ力」を構成する技術要素が、① Scienceに関する第1レイヤ、② Technology、③ Engineering、④ Designが融合的に相互連携する第2レイヤ、⑤ Human Scienceを担う第3レイヤから成る「情報科学の5要素」です。

研究テーマは、情報科学の基礎から応用まで、多彩な研究分野をカバーしており、学外の研究機関や企業との共同研究も幅広く実施しています。情報科学科の教育は、情報科学の5要素を効果的に吸収できるように設計されています。情報科学を自在に操る人材が世界を変えていきます。文工融合のこの環境で、情報科学の無限の可能性にチャレンジしてください。

授業01: 情報科学実験

情報通信システムの核となるハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベースの4大要素技術を学ぶ実験科目です。自らの手を動かす実験形態の授業で、知識だけでなく、体身についたスキルを確実に獲得することができます。

授業02: 創造的プログラミング

自分が発想した新しいアイデアを、現実のシステムやサービスとして実装することができます。本授業は、他の関連科目・演習と効果的に連携し、「世界を創造するツール」であるプログラミングに関する知識と技術の習得を促します。

授業03: 知能科学

複数名の教員がそれぞれの専門性(認知科学、脳科学、パターン認識、機械学習など)を背景に、知能とは何かを問います。知能の意味を個人で考察し、グループワークを通して知能とは何かを議論・設計する力を身につけていきます。

教員メッセージ



山本 泰生
情報科学科・准教授

近年のAIの発展を支えるビッグデータですが、利活用されるデータ量は全体に比べてほんの一握りです。こうした有効利用されず眠ったままの膨大なデータから新しい発見や洞察を得るアルゴリズムを研究しています。研究室の学生と共に、軽量データ管理技術、リアルタイム異常検知、未来予測といった社会に役立つ情報科学技術の創出を目指しています。

在学生の声



二階堂 遼
情報科学科4年

AIを活用して新しい技術を切り拓き、社会で活躍できる技術者になりたいと考え、情報科学科を選びました。情報科学科では、基礎から発展までを体系的なカリキュラムで学ぶことができ、実験・演習では自分で考えながらプログラムを作成する機会が多く、学んだ知識を実践的に活用する力が身につけていると感じます。さらに、早い段階から研究活動に触れられる制度があり、専門知識をいち早く学びながら、段階的に研究へ取り組むことができます。

情報学部 情報科学科ページ

情報学部 情報科学科の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください



情報科学科 教員/研究室紹介ページ

情報科学科の研究室の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください





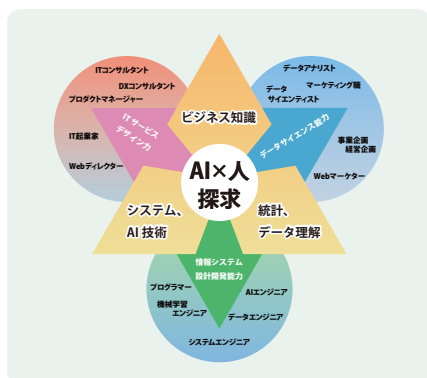
行動情報学科

DEPARTMENT OF BEHAVIOR INFORMATICS

行動情報学科では、情報社会における基礎素養としてのさまざまなITスキルをはじめ、情報システムでイノベーションを起こすITシステム開発力や、データを読み解くためのデータ分析力、そして世界に通用するマネジメント力を学びます。また、アクティブラーニングやPBL (Project-Based Learning) によって、文系・理系にとらわれない実践的な学びの機会から課題解決の実践力を培っていきます。

そして卒業研究では、幅広い専門分野を持つ教員が指導を行い、最先端の研究領域や分野融合的な新しいテーマに取り組みます。また、企業勤務経験を有する教員も在籍し、実社会に直結した研究と卒業後の進路に関する指導が受けられます。

行動情報学がAIと人間の未来を共創する



行動情報学は、人間の行動データを利活用し、社会をより良くしていくための学問分野です。現代社会では、多くの人たちのさまざまな行動が、データとして記録されるようになってきています。こういったデータを正しく収集し有意義に使うためには、ビッグデータ処理という最先端のボトムアップアプローチと、人間研究という古典的なトップダウンアプローチの、両方が必要になります。対立する2つのアプローチを融合するために、行動情報学科では、専門の異なる複数の分野の研究者が協働して教育と研究に臨んでいます。具体例として、人間の行動を変容させる「情報システム」の技術、人間行動をデータ化し価値に変換する「データアナリティクス」の技術、行動情報で実際に組織や社会を変革する「マネジメント」の知識について、学生と教員が一丸となって学び、研究を進めています。行動情報学を修めることで、人間や情報を理解したからこそ実現できる、実際に社会を動かすようなソフトウェアやサービスを実現できる人材になります。

授業01: データアナリティクスII

データサイエンティストへの第一歩として、実際にデータを集めて、処理・分析していきます。これからの社会を生き抜くために必要不可欠な社会調査、統計、テキストマイニング、機械学習技術などを実践的に身につけていきます。

授業02: ビジネスプランニングII

マネジメントスキルを応用して自分たちのアイデアをもとにビジネスプランを策定します。ニーズの探索、アイデア創出、共創、市場調査などと、それらをカタチにする一連のプロセスを学ぶことで、未来のビジネスを構想する力を養います。

授業03: AIシステムII

人工知能・機械学習の知識と、情報システム開発のプログラミング技術を融合させ、人工知能システムを作成します。開発スケジュール管理やドキュメント執筆、プレゼンテーション方法まで、システム開発者に求められるスキルを磨きます。

教員メッセージ



狩野芳伸
行動情報学科・教授

人間の言葉をコンピュータで扱う「自然言語処理」分野の研究として、機械学習や生成AIを応用した、文生成・対話システム・自動医療診断支援・世論形成過程の推測・裁判過程の自動化支援等、さらに、より人間に近いモデルや、分散表現と記号表現の統合による「説明可能AI」等に取り組んでいます。まだ世界にない知的システムを、一緒に作りましょう！

在学生の声



山崎太一
行動情報学科4年

高校時代にビッグデータやAIという言葉に触れ、情報学に興味をもちました。行動情報学科では、身近なテーマだけでなく、データサイエンスやAIといった最先端のテーマまで広く学ぶことができます。1年生の夏には、先生に紹介してもらったシリコンバレーでの研修にも挑戦し、視野を広げることもできました。

情報学部 行動情報学科ページ

情報学部 行動情報学科の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください



行動情報学科 教員／研究室紹介ページ

行動情報学科の研究室の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください



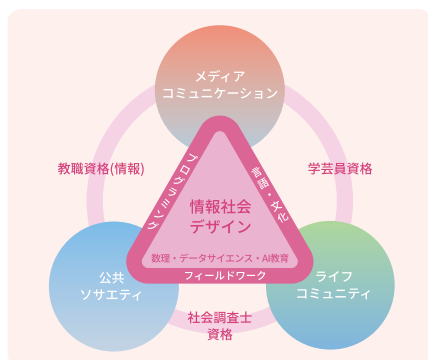
情報社会学科

DEPARTMENT OF SOCIO-INFORMATION STUDIES

社会の情報化とネットワーク化が進み、インターネットを通じた新しいメディアやサービスが登場するなど、私たちの生活はとても便利で快適なものとなりました。その一方で、プライバシー侵害や著作権の問題、人間関係への影響の問題など、新しい問題も次々に生じています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解した上で、現在の情報社会をもう一度見直し、情報通信技術の発展に対応した新しい情報社会を「デザイン」できる人材を育成します。



情報社会学とあなたの感性で未来をデザインする



新しい情報社会を「デザイン」するためには、社会に関するさまざまな学問分野が必要になります。情報社会学科には多彩な教員が揃っており、それぞれの分野から「情報」について研究しています。その専門は、法学、経済学、社会学、地理学、政治学から、メディア学、文化人類学、歴史学、文学、言語学、さらには哲学、倫理学といった分野にまで広がっています。きっと、自分の興味・関心に合った学び方ができるでしょう。

研究室では、少人数制ならではのきめ細やかな指導を受けることができます。情報社会研究に必要な思考力や技術力、調査・分析能力を高めた上で、各自が設定した研究テーマを徹底的に追究し、その成果を卒業研究としてまとめます。情報社会研究を通じて培った力は、必ずや皆さんが将来を切り拓く助けになることでしょう。

授業01: メディア制作演習

表現する楽しさと作品制作の難しさを学ぶ演習形式の授業です。普段何気なく消費するメディアコンテンツがどう生み出されるのか実践的に考え、消費者としてではなく「生産者（送り手）」としてメディアと向き合います。

授業02: 情報と法

情報化社会における情報法に関する基礎知識を学ぶ授業です。具体的には、個人情報保護に関する法律やインターネット規制に関する法律をはじめ、AIと人格権、eコマースに関する法制度や監視社会等についても学びます。

授業03: 社会調査法

社会調査の概念や量的調査と質問調査の方法論を学ぶ授業です。調査計画を立てデータを収集したり、集計して分析・考察したりする実習を行います。グループごとに質問紙を作成したり、インタビュー調査を行ったりします。

教員メッセージ



中川恵理
情報社会学科・講師

情報学って？コンピュータやAIの学問？実は情報学は技術だけでなく、社会、文化、経済、心理など多様な分野が融合した学際的な学問です。情報社会学科では、技術の進化が社会に与える影響や、情報が人々の生活にどう関わっているか等を学びます。理系科目に自信がない方にも広く門戸が開かれており、多角的な視点や思考・分析力を養えます。私たちのコミュニケーション行動研究室では、外国語での発話に関する研究等、広く「コミュニケーション」に関するテーマを扱っています。情報社会の未来を共に探求しましょう。

在学生の声



谷口心海
情報社会学科4年

情報社会学科の強みは他の学科・学部と比較しても高い圧倒的『自由度』です。理系・文系の枠を飛び越え、時に留学で国さえも超えることができます。私は法学、メディア学に興味があったので、この学科を選びました。自分の知らない「好きな学び」を見つけ驚く毎日です。プログラミング、番組制作、野外活動...やりたい、知りたい講義を組み合わせ、全てがあなただけの最強の大学生活を一緒に作り上げましょう。

情報学部 情報社会学科ページ

情報学部 情報社会学科の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください



情報社会学科 教員／研究室紹介ページ

情報社会学科の研究室の詳細は、
右のQRコードからWEBサイトをご覧ください



入試情報

※ 最新の入試情報は本学学部入試ウェブサイトをご確認ください

入試科目

情報学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）、
学校推薦型選抜、総合型選抜など、多様な受験チャンスを用意しています。

	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜（前期）	一般選抜（後期）
情報科学科	（専門学科及び総合学科枠） 基礎学力試験 （「英語」、「数学」もしくは「数学・情報」） 面接	大学入学共通テスト （6教科7科目または5教科7科目） 面接	大学入学共通テスト （6教科8科目） 個別試験（数学、英語）	大学入学共通テスト （6教科8科目） 個別試験（数学）
行動情報学科	（全学科枠） 書類審査 （コンテスト、英語外部試験、自己アピール動画） 面接	大学入学共通テスト （4教科5科目） 個人レポート	大学入学共通テスト （7教科8科目または6教科8科目） 個別試験（英語、総合）	大学入学共通テスト （7教科8科目または6教科8科目） 個別試験（英語）
情報社会学科		大学入学共通テスト （5教科6科目） 面接	大学入学共通テスト （7教科8科目または6教科8科目） 個別試験（英語、小論文）	大学入学共通テスト （7教科8科目または6教科8科目） 個別試験（英語）

※ 詳細につきましては「入学者選抜に関する要項」、「募集要項」をご確認ください。

※ 行動情報学科の一般選抜（前期）の『総合』は、「情報」（情報社会の問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用）、「現代の国語」（情報の扱い方に関する事項）、「数学」（データの分析）、「数学A」（場合の数と確率）、「数学B」（統計的な推測）を中心に、現実的課題に関連したデータ分析に関する問題を出題し、学科の特性にあった総合的な能力を評価します。なお、令和10年度入試から『総合』は『情報』に変更となります。詳しくは本学学部入試ウェブサイトをご確認ください。

令和8年度入試のデータ

備考：合格者数には追加合格者は含まれない。

情報科学科

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	53	109	102	57
後期	30	111	38	33
学校推薦型	5	10	10	5
総合型（専門枠）	10	28	28	10
合計	98	258	178	105

行動情報学科

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	40	136	126	42
後期	24	144	39	25
学校推薦型	5	25	25	9
合計	69	305	190	76

情報社会学科

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
前期	40	68	60	42
後期	20	129	51	25
学校推薦型	8	21	20	8
合計	68	218	131	75

3年次編入 （情報科学科のみ）

	募集人員（人）	志願者（人）	受験者（人）	合格者（人）
一般	若干名	4	4	2
推薦	若干名	0	0	0
合計	若干名	4	4	2

入試情報の入手先

詳細な入試情報、及びその他の入試（3年次編入試験、私費外国人入試）につきましては、下記のWebページをご覧ください。

情報学部 入試情報ページ

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/point/>

学部入学試験の概要、入試Q&Aなどをご覧いただけます。



静岡大学 学部入試専門ページ

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

募集要項をご希望の方は、こちらで入手方法をご確認ください。



卒業後の進路

大学・大学院で学んだ専門知識を活かした技術者・研究者をはじめ、専門性の高い総合職など幅広い分野に就職先を広げています。

進路の内訳 令和7年度情報学部卒業生・大学院情報学専攻修了生

	卒業・修了者数	就職希望者数	就職者数	進学者数	未就職者数	その他	就職率
情報学部	239名	143名	142名	92名	1名	4名	99.3%
大学院情報学専攻	86名	77名	77名	6名	0名	3名	100%

卒業生の声

照井 一暉 情報科学科 卒業
日本キャリア株式会社 勤務

エアコンの制御設計を担当しており、大学で学んだOSやプログラミング等の知識が組み込みソフトの開発業務に活かしていると実感しています。

宗野 みゆき 行動情報学科 卒業
西日本電信電話株式会社 勤務

高校時代は文系でしたが、行動情報学科で培った情報技術や論理的思考力は、現在のSE業務や社内外のプレゼンテーションに役立っています。

佐藤 大樹 情報社会学科 卒業
浜松市役所 中央区・区振興課 勤務

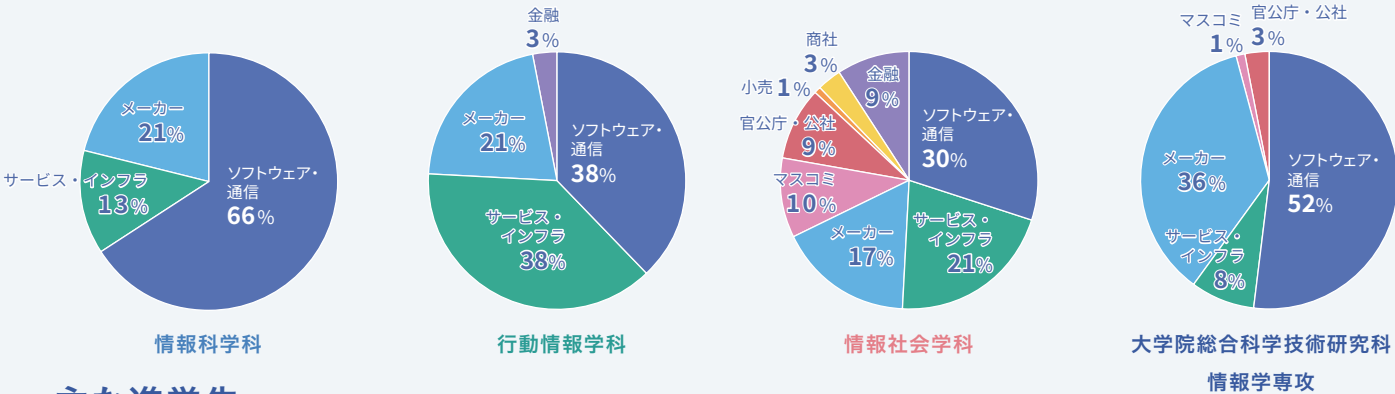
講義やゼミ、サークルやボランティアで得られた学びは社会に出た今も大切にしています。情報学部には一緒に悩んでくれる先生や学生がたくさんいます。

主な就職先 令和7年度（アルファベット50音順掲載）

ソフトウェア・通信	アマゾンウェブサービスジャパン NTTデータ東海 KSK KDDI ジェイアール東海情報システム NTTドコモソフトバンク トヨタシステムズ マーブル 三菱電機ビルソリューションズ メイテツコム LINEヤフー
メーカー	アサヒグループジャパン ジヤトコ スズキ SUBARU トヨタ自動車 トヨタ車体 日本電気 浜松ホトニクス 日立製作所 富士フイルムビジネスイノベーション ブラザー工業 三菱自動車工業 三菱電機 ヤマハ発動機
サービス・インフラ	アクセンチュア 鈴与 TOKAIホールディングス 東海旅客鉄道 日本総合研究所 野村総合研究所 バンダイナムコビジネスアーク 富士通Japan BREXA Technology マイナビ ヤマハコーポレートサービス
マスコミ	オプト ザ・ワークス 静岡新聞社・静岡放送 日本経済新聞社 浜松ケーブルテレビ FUKUMIMI
金融	岐阜信用金庫 静岡銀行 東京海上日動火災保険 浜松磐田信用金庫
官公庁・公社	岡崎市役所 菊川市役所 静岡県庁 浜松市役所

※ 大学院総合科学技術研究科情報学専攻を含む

学科・大学院別の就職先の割合 令和7年度



主な進学先 令和7年度

静岡大学大学院	慶應義塾大学大学院	筑波大学大学院	東京科学大学情報理工学院	東北大学大学院情報科学研究科	名古屋大学大学院
---------	-----------	---------	--------------	----------------	----------

主な進路先情報の入手先

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/career/>



大学院入試情報の入手先

大学院総合科学技術研究科情報学専攻

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/graduate_info/



免許・資格取得

◆ 在学中に所定の科目を修得することによって以下の資格が取得できます。

●高等学校教諭一種免許状(情報)[全学科] ●学芸員資格[情報社会学科のみ] ●社会調査士資格[情報社会学科のみ]

情報社会学科の学生が資格を取得可能



文系科目が得意な方にも、
情報学の道は拓かれています。



◀◀ 詳しくは特設ページへ



すべての学生にデータサイエンス、
AIを学ぶ道が拓かれています。



◀◀ 詳しくは特設ページへ



静岡大学 情報学部
Faculty of Informatics, Shizuoka University

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北3-5-1

電話 053(478)1510 (情報学部教務係)

FAX 053(471)0249

URL: <https://www.inf.shizuoka.ac.jp/>

